

環境と健康

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

発行者

一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会

佐藤 均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号 730-8631
電話 082-293-1511番
振替口座01380-2-27511
URL <http://www.kanhokyo.or.jp/>

犬や猫のこと、考えてみませんか? 人と動物との調和のとれた共生社会の実現を目指して

少子高齢化、核家族化が進む中で、犬や猫は、単なる愛護の対象から、「家族の一員」あるいは「人生のパートナー」となり、飼い主と深い関わりを持つようになってきました。一方、犬や猫に関する理解の不足を原因とした遺棄や虐待、飼い方のマナーの欠如による近隣への迷惑行為、無責任な餌やりで起因する野良犬猫による被害など、課題も多く存在しています。

広島県でも、犬や猫に関する苦情や相談が、毎日のように動物愛護センターに寄せられています。こうした犬や猫に関する課題を解決するため、私たちには何ができるのでしょうか。動物を飼っている人も、飼っていない人も、今一度立ち止まって、これらの問題について考えてみませんか。

犬や猫を取り巻く問題を考える上で大事なことは、「愛護」と「管理」の2つの視点をもつことです。「愛護」とは、その命の尊厳をまもり、大切に接すること。「管理」とはそれぞれの動物の習性や生態を理解し、他人やまわりの環境に迷惑をかけないよう、適切に最期までお世話をするということです。犬や猫を含めた動物に関わる場合は、これら2つの責任をもってその命に向き合う必要があります。

この連載では、今年6月に始まったマイクロチップ制度の紹介や、広島県が支援している地域猫活動の紹介を通じて、みなさん一人一人が動物の「愛護」と「管理」を考えるきっかけになればと考えています。

次回は、犬や猫のマイクロチップについて紹介します。

(広島県健康福祉局食品生活衛生課)



令和4年7月21日、22日に、呉市のグリーンピアせとうちを会場に、「第60回環境保健夏季大学(合同研修)」を開催しました。コロナウィルス感染予防や大雨による中止などで、3年ぶりの開催となり、2日間で150人が参加しました。

初日は、来賓として広島県健康福祉局山崎真紀総括官からご挨拶をいただき、続いて健康づくりをテーマに、広島県からの情報提供やフレイルミ講座&ポータルストレッチ実習、口腔保健に関する講演を行いました。

その後、宿泊希望者は各自部屋へ入り、翌日のプログラム開始時間まで、ゆっくりと参加者同士の交流を深めました。

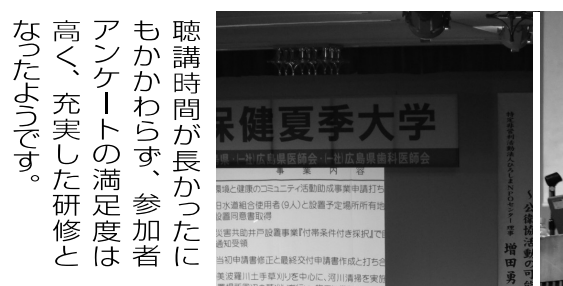


コロナ禍は収まっていなかったが、3年ぶりの参集は好評だった

3年ぶりに夏季大学を開催 日帰りプログラムに150人参加

環境づくりの中でも特に防災・減災をテーマに、災害ボランティアセンターで活躍された増田講師による講演や、環境と健康のコミュニティ活動助成事業で助成を行った3団体の共助井戸に関する事例発表を行いました。公衛協の新たな活動テーマである防災・減災に関する内容であったため、会場からの質問も活発に行われました(関連記事2面参照)。

講演や事例発表など、聴講時間が長かったにもかかわらず、参加者アンケートの満足度は高く、充実した研修となったようです。



次年度以降も研修内容に工夫を凝らしていきたいと思えます。ご期待ください。
(地域活動支援センター)



県健康づくり推進課からの情報提供(上)、助成事業の成果を事例発表(左)

きんせんか 琴線歌

昨年(2021年)の8月、安芸高田市は大雨による堤防の決壊等土砂災害被害を受けました。地域をパトロールし情報収集に努めた際、あたりに石や木がごろごろと転がっていたことを思い起こします。▼家の浸水被害も多く、被災3日目は市が管理する被災ごみの仮置き場が開設されました。ほとんどが市役所から公衛協に、仮置き場での分別呼びかけの支援要請があり、約15日間、市職員と共に公衛協の役員が2~5人態勢で、分別や荷下ろしを支援しました。▼仮置き場には、被災ごみを積んだ車の渋滞が発生し、食事をとる間もなくひっきりなしにごみが運ばれてきました。被災ごみのその後のことを考えれば、分別は必須です。分別することで搬

被災ごみの仮置き場で

イントです。また、地域活動への関わりが薄い若い世代が、有事の際に活躍してくれるような仕組みづくりも大切です。▼再び起こる欲しくはないですが、今、今後の災害に向けた備えが必要なのではないでしょうか。
(安芸高田市公衆衛生推進協議会会長 光永善治)

家庭からの搬出や仮置き場での分別の徹底は、被災ごみをスムーズに処理し、復旧を早めるポイントです。

出はスピーディーになり、掛かる費用も削減できる等メリットは大きいのですが、混乱した被災現場では、「こんな状況で分別などできるか」という声も多く聞かれました。▼行政には指揮命令系統の整理を、推進委員や市民にはボランティアに出られるように、平時からの備えがないといざという時に困る」と感じました。



一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~ 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)
TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

基本理念

~みんなの生命(いのち)をまもりたい~

私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。

かんぽきよう 検索



水野先生から、歯周病が全身に及ぼす悪影響を学ぶ



第60回環境保健夏季大学報告

健康づくり「フレイル」

1日目は健康づくりをテーマにした研修を行いました。まず、『住民の健康づくりに関する取組について』地域づくりと通いの場を中心として』と題して、広島県健康福祉局健康づくり推進課の南課長に、広島県の取り組みについて情報提供をしていただきました。

広島県の健康づくりの現状について話され、特に「地域づくりと通いの場」について、高齢化による介護・福祉の問題、地域のつながりの衰退等の課題が、「高齢者」をきっかけに改善する場として紹介されました。この「通いの場」が、今後の公衛協の活躍の場になりうることを教えていただきました。

続いて、当協会職員が講師を務め、フレイルに関するミニ講座と、ストレッチボールを使った足裏を中心としたストレッチを体験しました。

午後には、『歯と口腔から始める健康生活』と題して、広島県歯科医師会地域保健部常任委員で、水野デンタルクリニックの水野院長にご講演をいただきました。

歯の大切さや歯を失う原因、全身疾患のリスク、口腔ケア用品の使い方や口を鍛える「かみかみ百歳体操」などを教えていただきました。

参加者からは、「歯磨き粉は必要か」「かみかみ百歳体操で、特に行うとよいものは？」などの質問があり、参加者の口腔ケアへの意識の高さがうかがえました。

最後に、当協会の佐藤理事長から府中市公衆衛生推進委員会連合会の下会長に修了証が手渡され、1日目のプログラムを終えました。

環境協では、重点メニュー「歯と口腔から始める健康生活事業」を展開しており、学習会や受診勧奨を行っているため、今後の公衛協事業にお役立てください。

夏季大学2日目 講演要旨 災害時の公衛協の可能性

今日は、災害が起きた後の復旧・復興の部分に焦点をあて、『受援力』と『多様な支援』についてお話し、公衛協活動の可能性に繋がるアイデアをお渡しできればと思っています。

二つ質問します。①お住いの地域で被災経験がありますか?→半分ぐらい手があがりました。②災害ボランティアに関わったことがありますか?→かなり手があがりましたね。それぞれ、状況や事情が異なるとは思いますが、自分のまちなら考えながら聞いていただければと思います。

さて、最初に発災時にどのような支援があるかについて話します。

現在、個人・企業・NPO・市町など多くの支援環境が整ってきています。市町等行政は、医療の提供、インフラ復旧の公助をしてくれます。環境協が坂町の避難所で運動支援をされていたように、よりきめの細かい支援である共助は、様々な企業・団体が、炊き出しや子どもの預かり、罹災証明や保険の助言、家屋の復旧など多種多様な活動が行われています。

実は、これらのたくさんの共助は、均等に行き届くわけではなく、ムラが発生しています。ここで大事になるのは、多くの支援や協働を活かす『受援力』です。

『受援力』とは、地域住民が、さまざまな支援を受け入れ活かしながら、ボランティア等と一緒に取り組んでいく力のことです。

具体的に言うと、「人に手伝ってもらうのは申し訳ない」「行政に頼んだから大丈夫」という地域と、「災害ボランティアの力を貸してもらおう」「経験者に助言してもらおう」という地域

の2つがあった場合、後者が受援力が高く、作業が早く進むことになります。

受援力を高めるためには、災害時に私たちの地域は何が困るか、どんな強みがあるかを体験の共有やシュミレーションをして話し合う必要があります。

地域の復興は、とても長い時間がかかります。地域独自でできることもたくさんあると思いますが、ボランティアの力を借りて、その後の復興を見据え、力を温存することも大事だと考えます。

最後に、公衛協活動の可能性についてですが、私は、今回初めて公衛協について知りました。5つの役割に照らして話をしていきます(※5つの役割に触れていただきましたが、1例のみ掲載しています)。

災害ごみは、環境省が指定する9の分類で集積され、分別されて処理されます。ニュースなどでは分別無しで積みあがったごみの山が映ったりしますが、こうなる前に自治会で0次置き場を作れないでしょうか。分別方法の案内や指導なども行い、ごみ処理にかかる費用が抑えられれば、復旧・復興に活かせるかもしれません。

このケースは0次置き場の現状復旧をどうするかを整理することが、成否のポイントとなります。この部分は、行政と協力することで土地提供者の不安を取り除く方法があると思います。

災害時には、皆さまの活動がなくてはならないというシーンがあると思います。その時、その役にになれるかは、平時からのコミュニケーション、準備が必要不可欠です。今日の話がそのためのきっかけになれば幸いです。

(文責：地域活動支援センター)



特定非営利活動法人
ひろしま NPO センター
理事 増田 勇希氏



ボールストレッチを体験する参加者(上)、受援力について講演する NPO センターの増田理事(中)、活動を紹介する福山市公衛協の園尾会長(下)

紹介した事例を参考に、活動の事例を紹介いたします。

午後からは、昨年度、共助井戸に取り組んだ廿日市市大野公衛協、三次市田幸地区公衛協、福山市公衛協から、それぞれ広域型、拠点型、モデルづくりに取り組んだ事例を発表いただきました。

その後、2日間を通しての修了式が行われ、竹原市公衆衛生推進協議会の岩崎会長に修了証が手渡されました。

当協会が発行した「令和3年度地域活動支援基金活用事業活動報告書」には、事例発表をした公衛協の活動概要を掲載しておりますので、皆さまの活動にお役立てください。

(地域活動支援センター)



公衛協から災害支援のお礼が伝えられる

防災・減災事業「共助井戸」

2日目は、防災をテーマにした研修を行いました。

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』

『災害時の受援力と多様な主体に』



広島県庁で記者発表を実施

HACCP (ハサップ) とは

国際的に共通する衛生管理手法の一つで、食品など事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために、特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとするシステム。

2018年の食品衛生法の改正により、食品事業者はHACCPによる衛生管理を行うことが制度化(義務化)され、食品の衛生管理が強化されました。しかし、全国的に中小の食品事業者はHACCP導入が遅れていたり、全く導入できていない状況が続いてきました。

その中で、宮島の食品事業者は、来島者へ安全安心な食を提供したいとの思いから、HACCPの導入を進めるため、島全体で何

に参加した事業者は、宮島旅館組合15、宮島菓子組合14、宮島料飲組合29の計58事業者です。世界文化遺産がある宮島にエリアを限定しての自主的な取り組みは、全国初でしょう。

HACCPでの衛生管理を実施しています。食品の衛生管理の取り組みは、国内外から

宮島を訪れる観光客には見えにくいものですが、それを目に見える形でアピールしたいと

の思いから、3事業者組合、宮島町商工会、当協会で、「取組宣言店」のステッカーを作製し、各店舗に貼付しています。

大鳥居と広島県の木であるモミジの葉を描き、宮島らしさを表現しています。「大鳥居」の絵を使用するため、厳島神社の正式な承諾もいただきました。宮島に行かれた際、このステッカーを見かけたら、そのお店を安心してご利用いただければと思います。

環境生活センター(石崎誠司)

HACCP

宮島で食品事業者が導入

安心・安全な食のおもてなし

平均気温は100年で1.6℃上昇 全国平均よりも高い割合



ひろしま 気候変動適応センター

②広島県の気温上昇

●気候変動とは

気候変動とは、気候変動に関する国際連合枠組条約によると「地球の大気の組成を変化させる人間活動に直接又は間接に起因する気候の変化であって、比較可能な期間において観測される気候の自然な変動に対して追加的に生ずるもの」と定義されています。つまり、気候変動は、化石燃料の燃焼、温室効果ガス排出量の増加、森林破壊など、私たちの活動が要因となっています。

気候変動は、気温の上昇や集中豪雨などさまざまな事象として表れ、私たちの生活に影響を及ぼします。今回は、広島県の気温の上昇について、ご紹介します。

●広島県の気温の変化

<年平均気温の上昇>

日本の気温は上昇傾向にあり、長期的にみると年平均気温は100年あたり1.28℃の割合で上昇しています。広島県は、100年あたり1.6℃の割合で上昇しており、全国平均よりも高い割合で上昇しています。<県内各地の平均気温の上昇>

広島市、呉市の気温について、1915-1919年と65年後の1980-1984年の平均気温を比べると、差はありません。しかしながら、100年後の2015-2019年の平均気温と比べると、広島市で2.1℃、呉市で1.6℃も上昇しており、1980-1984年からの35年間で平均気温が大きく上昇したことがわかります。福山市、東広島市、三次市の平均気温も、1980-1984年に比べると上昇しています。

●「ひろしま気候変動適応セミナー」のお知らせ

今年も「第2回ひろしま気候変動適応セミナー」を開催します。詳細が決まり次第、センターのホームページに掲載しますので、ご確認ください。

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/tekiou>)

年平均気温の5年平均(℃)					
地点	1915年～ 1919年	1980年～ 1984年		2015年～ 2019年	
		(+65年)	(増減)	(+100年)	(増減)
広島	14.8	14.8	0.0	16.8	+2.1
呉	15.2	15.2	0.0	16.8	+1.6
福山	—	14.3		15.9	+1.6
東広島	—	12.7		14.0	+1.4
三次	—	12.5		13.9	+1.4

(出典:気象庁気象データをもとに広島県作成)

公衛協が主催する海岸・河川の清掃活動情報募集

広島県は、「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム」(略称 GSHIP(ジーシップ))を設立し、総合的・効果的な海ごみ対策を進めています。取り組みの一つとして、清掃団体や市町が実施する清掃活動を集約・一覧化し、GSHIP 参画会員とのマッチングを行うことによ

り、効果的な海ごみの回収・処理を行う仕組みづくりの検討をしています。

つきましては、各公衛協が予定している清掃活動のうち、ボランティアの受け入れが可能な活動がありましたら、市町公衛協事務局を通じて、地域活動支援センターまでご連絡下さい。



「取組宣言店」ステッカー (右)

高所作業を安全に行うために 作業者の安全を確保する器具

環境生活センター環境調査課では、業務上、高所作業を行うことがあります。高所作業とは、2m以上の高さで行う作業を指し、安全措置を取らなければならないことが労働安全衛生法などによって定められています。労働安全衛生法では、墜落による労働者の危険を防止する措置として、作業床を設け、その作業床の端や開口部等には囲い、手すり、覆い等を設けて墜落自体を防止することが原則となっています。しかし、こうした措置が困難な場合は、安全帯を使用させるなどの代替の墜落防止措置が認められています。

高所作業現場で働く方にお馴染みの安全帯は、「墜落制止用器具」という新規格の呼び名に変わりました。これは厚生労働省が新たに公表した用語です。従来の胴ベルト型やフルハーネス型の「安全帯」と近いものではありません。



胴ベルト型



フルハーネス型

環境協の
環境生活
センター
②⑧ 環境調査課

墜落制止用器具は、「胴ベルト型」「フルハーネス型」の2種類があります。

「胴ベルト型」は、主に腰部周りに帯状のベルトを固定して着用するものです。従来の安全帯の胴ベルト型には「一本つり」タイプと「U字つり」タイプがありましたが、墜落制止用器具として指定されている胴ベルト型は、「一本つり」タイプとなりました。また、墜落時に体を支える起点となるフックの取り付け位置は、作業者の腰より高くないといけません。この「胴ベルト型」は、作業箇所の高さが6.75m未満の場合しか使用できません。6.75m以上の場合は、「フルハーネス型」の使用が義務づけられています。

「フルハーネス型」は、肩・胸・腿など身体の数箇所でもベルトを固定して着用し、ランヤード(命綱の部分)が、衝撃荷重の基準によって第1種と第2種に分かれています。第1種(4.0kN以下)はフックの取り付けは腰より高い位置で、第2種(6.0kN以下)は足元でも腰より高い位置でもどちらでも取り付け可能です。

当協会では、法令遵守を第一に、作業員(職員)の安全をしっかりと確保しつつ、さまざまな業務に取り組んでまいります。

(環境調査課 石田 総和)

環境協と
公衛協の
ひもをどく
③広島県公衆衛生
推進要項の制定

「蚊とハエのいない郷土建設運動」は、蚊やハエの減少とともに、伝染病の減少による医療費軽減など、さまざまな効果をもたらしました。その中で最も大きな効果は、この運動を通じて多くの熱心なリーダーや地区組織を生み出したことでした。

熱心なリーダーの声受け組織化へ 今も脈々と受け継がれる公衛協活動

持続する仕組みを作ってもらいたいとの要望が出はじめました。広島県は、このような声を汲み入れ、衛生害虫駆除で盛り上がった地区組織を基盤と

「推進要項」を制定したのです。要項では、活動の進め方のほか、今日の「公衆衛生推進委員会」および「公衆衛生推進協議会」の位置付けが明記

内容です。ここには、公衆衛生推進委員会について次のように記されています。「公衆衛生推進委員会」という統一名称を付したのは、公衆衛生に関する協力を広

委員の委嘱後、各市町村で公衆衛生推進協議会が設立されました。そして、気運は全県組織の設立へと高まってきました。

10月5日11月にかけて黄色い花をたくさんつけるセイタカアワダチソウは、北米原産ですが、明治時代末期に切り花用の観賞植物や蜜源植物として導入され、

「一般に周知させるためであり、県の非常勤職員の身分を保有するものではない。あくまでも自由な立場で民間人として、率先して自発的に公衆衛生推進活動をするものである。この概念は、66年経った今も脈々と受け継がれているわけです。」

あなたの隣の
外来種
③セイタカアワダチソウ

駆除した外来種で生活を豊かに うまく利用して健康増進



繁茂するセイタカアワダチソウ

現在では日本全国に分布し、広島県内でもよく見られます。

本種は、大きいもので高さ2〜3mに達するため、光を優先的に浴びることができ、種子だけでなく地下茎からも増える繁殖力の高い植物であるため、先住植物を駆逐してしま

その一方で、本種はさまざまな成分を含んでおり、うまく利用することで、私たちの健康に良い影響をもたらす面もあります。例えば、多様なポリフェノールが含まれており、抗酸化作用をはじめ、美肌効果、動脈硬化予防効果、脂肪消費効果などが期待されます。中でも、ポリフェノールの一種である「フラボノイド」には、デトックス効果やアンチ



セイタカアワダチソウのように、外来種の中には私たちの生活に活かせるものがあります。外来種をただ駆除するだけでなく、駆除した外来種をうまく利用して生活を豊かにすることもできるのではないのでしょうか。

(地域支援課 吉井 圭平)

話題の
健康づくり

アラカルト

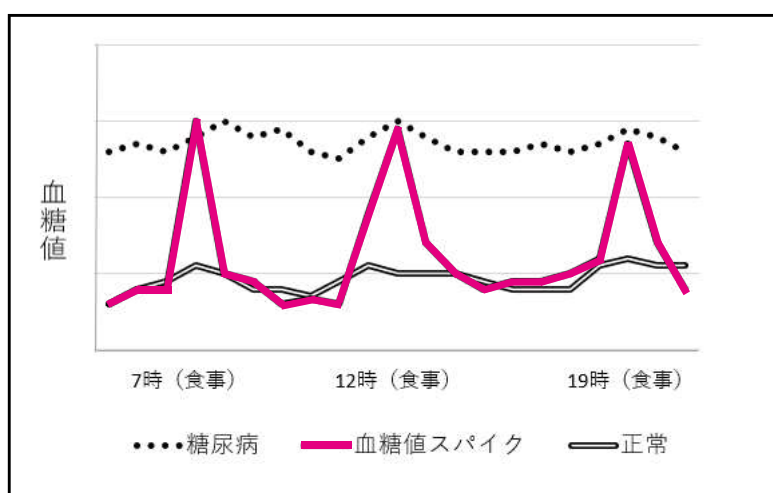
④5 血糖値スパイク

放置すると糖尿病に 日々の工夫で対策を

血糖値スパイク（食後高血糖）とは、食後の短時間だけ血糖値が急上昇し、その後急降下する現象のことです。食後の血糖値のグ

ラフが棘のように見えることから名付けられています。食後早い段階で検査をする必要があり、一般的な健康診断での検査では見つけられないため、隠れ糖尿病といわれています。放置すると糖尿病に進展する可能性が高く、糖尿病は無縁と誤っている健康な人にも血糖値スパイクが多く潜んでいることが明らかにされています。

血糖値を下げるために、脾臓からインスリンというホルモンが分泌されます。急激に上がった血糖値に対応して大量のインスリンが分泌されるため、今度は血糖値が急降下してしまいます。こうした血糖の乱高下による血糖値スパイクが何度も起こると、血管を傷つけ動脈硬化を進行させ、心筋梗塞や脳梗塞のリスクが高まります。また、血糖値が急降下すると食後に眠気やだるさ・疲労感が起こりやすくなります。予防するためには、糖質が身体に吸収されるスピードを遅くし、血糖値の急上昇を抑えることが必要です。

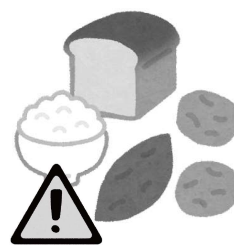


血糖値変動グラフ

また、食後の運動も重要です。食後すぐにウォーキングをするなど、軽く体を動かすと、速やかに血糖値が下がることもわかっています。

日々のちょっとした工夫で予防できるので、普段の食事や生活を見直して対策をしましょう。

（健康支援課 岡本千恵）



す。食事と食事の時間を空けすぎないように、そして、食べる順番も重要です。野菜・肉・魚ご飯の順番で食べると野菜類に含まれる食物繊維が糖の吸収を穏やかにし、肉や魚に含まれるたんぱく質が胃腸の働きを緩やかにしてくれま

県は、食品衛生基準を満たした製造・加工施設について、独自に認証する制度を実施しています。適合した施設は、商品に「認証マーク」を貼ることができます。当協会は認証機関として、食品衛生管理の認証・更新審査や指導などを行っており、このシリーズでは、当協会が認証した事業者の声を紹介し、食品衛生管理の重要性を伝えていきます。

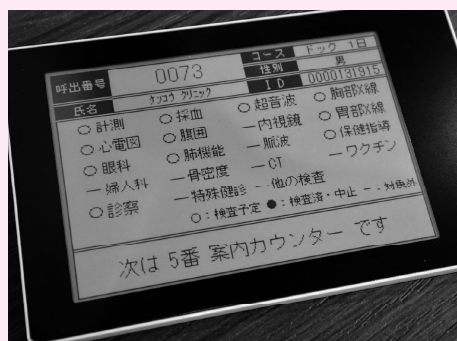


スムーズで快適な健診を実現

電子ペーパーや大型モニター導入

健康クリニックでは、受診者の皆さまへのより良いサービスの提供・ミスのない健診の実施を目指して、2022年度から新システムを稼働しました。

新システムは、電子ペーパーに検査項目や各検査ブースへの案内等が表示される誘導支援が特徴です。併せて、



名刺サイズの電子ペーパー。受診状況が確認可能に。

各検査ブースの待ち状況を大型モニターに表示することで、スタッフ・受診者双方が検査状況を確認でき、システムで、待ち時間が少ない検査へ受診者を誘導することで、無駄のない、スムーズで快適な健診を実現しています。また、受診者の個人情報に配慮し、名前での呼出が番号となり好評です。



④0 新システムの紹介

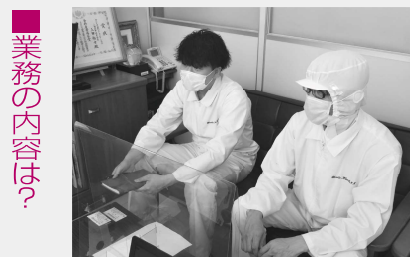
その他、電子ペーパーによる、受診者間違いの防止や、タブレットと検査機器を接続して検査結果データを連携することでの正確な検査を実現しています。

今後は、受診者のパソコンやスマートフォンから予約登録、問診入力、結果参照等ができるように準備を進めています。受診者の皆さまにより良いサービスを提供できるよう、今後も取り組んでまいります。

（新基幹システム運営室 高杉 宏章）



大型モニターで検査状況が確認できる



③2 上田昆布株式会社

登録日:2021年9月2日(本社)
2022年6月7日(第二工場)
所在地:広島市西区商工センター7-1-35
創業:1915年(大正4年)
話し手:営業部兼品質管理 上田 修希 様
営業部兼生産管理次長 吉村 和也 様

■業務の内容は？
昆布を菓子や珍味として加工販売しています。昭和42年より「おしゃぶり昆布」を発売しました。味付け乾燥昆布という今までになかったところから始まりました。真昆布の切れ端から、おしゃぶり昆布へと、伝統の味を活か

社員の意識変化

能動的な衛生管理意識の芽生え

■「認証を受けようと思っただけ」
もともと、大手コンビニエンスストアのプラ

■「認証取得の成果」
社員の意識変化が最

■「今後のステップアップ」
JFS・B規格につ

■「消費者へのアピール」
創業以来、それぞ

■「今後のステップアップ」
JFS・B規格につ

■「消費者へのアピール」
創業以来、それぞ

記事・原

健康クリニック

全国労働衛生団体
連合会功績賞

当協会・健康科学センターの上原歌緒里課長(臨床検査課)が、**「写真・前列中央」**が、「労働衛生関係の業務に20年以上従事し、その業績が特に顕著で他の範とする者」として、(公社)全国労働衛生団体連合会の「全国労働衛生団体連合会功績賞」を受賞しました。表彰式は「コロナ禍により中止となり、当協会にて授与式を行いました。」

協会の役員一同、上原課長の今後の活躍に期待します。

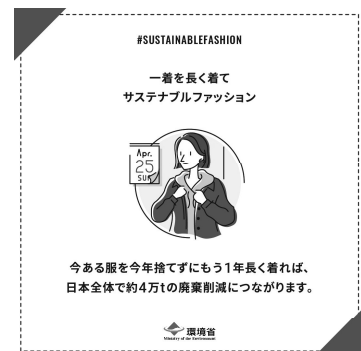
サステナブルなファッションを!

COOL CHOICE(=賢い選択)

日本の衣類廃棄量は年間約百万トン。一人あたりなんと約26枚。洗濯表示を確認する、適切にケアする、先のこととを考慮して買うなど、気に入った枚を長く大切にすることもサステナブルなファッションの付き合いです。

暮らしのヒント!

○衣類をすぐ買い替えないことで無駄遣いの



今持っている服を長く大切に着る

今ある服を今年捨てずともう1年長く着れば、日本全体で約4万1千の廃棄削減につながります。



日本で作られている衣類の約98%が海外からの輸入です。
日本のファッション産業によるCO2排出量は、原材料調達および製造段階で90%以上を占めており、ファッション産業を持続可能にするためには海外での環境負荷の実態把握とその削減が重要です。

日本の衣類廃棄量は年間約百万トン。一人あたりなんと約26枚。洗濯表示を確認する、適切にケアする、先のこととを考慮して買うなど、気に入った枚を長く大切にすることもサステナブルなファッションの付き合いです。

防止にもつながります。○ものを大切にすることを意識を持つきっかけを作ります。**年間の削減量**衣類の購入量を1/4程度にした場合、194キログラムを削減できます。

環境に配慮した服を選ぶ



家庭から手放される衣類のうち、リユース・リサイクルされる割合は約34%。残りはごみとして処分されます。もし残りの全ての衣類が回収され、リサイクルを経て原材料に再供給された場合、最大で年間約2,500万トンのCO2排出量が削減できます。これは東京都における年間のCO2排出量の約4割に相当します。

世界的に洋服の廃棄問題は深刻で、さまざまなブランドが環境に配慮した素材や方法で洋服を作っています。購入時にリサイクル・リユースなど環境に配慮した素材や製造過程なども確認してみよう。**暮らしのヒント!**○リサイクル・リユース素材を使う衣類を選ぶことで、地球温暖化対策に取り組み企業への応援にもなります。**年間の削減量**リサイクル素材を使った服にした場合、29キログラム(年間購入する服の10%・1.8枚)削減できます。(脱温暖化センターひろしま・環境省)

COOL CHOICE

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。できるところから、「ゼロカーボンアクション」に取り組んでいきましょう。地球温暖化対策のための「COOL CHOICE (= 賢い選択)」に賛同をお願いします!

賛同はこちらから▼

COOL CHOICE 賛同登録用QRコード

こむら返りに即効性のある漢方薬として、芍薬甘草湯(シャクヤクカンゾウトウ)はよく知られていますが、常備薬として手放せないという話も聞きます。こむら返りの原因はいろいろありますが、あまり知られていないのがマグネシウム不足です。この数十年で野菜のミネラルは激減し、精製された米や塩、砂糖はミネラルが取り除かれています。その中でもマグネシウムは体にとって最も大切なミネラルにもかかわらず、見過ごされてきており、多くの人が慢性的に不足しています。



こむら返りにマグネシウム

まずは食事の中で補うこと

便秘など、さまざまな症状が表れます。

漢方では薬食同源という考え方のもと、食事指導にも力を入れており、薬に頼らなくても健康を維持できる状態を目指しています。マグネシウム不足に特有の症状が多い場合、まずは食事

の中でマグネシウムを補うことをおすすめしています。

マグネシウムが豊富な食品は、海藻や豆、ナッツ、海塩、にがり(塩化マグネシウム)

などです。ただし、マグネシウムは下剤効果があるため、高濃度のにがりは摂りすぎないようにしたいです。また経口よりも経皮の方が吸収しやすいので、にがりを入浴剤として使う方法もあります。他のミネラルを過剰摂取すると吸収が阻害されるので、さまざまなミネラルをバランスよく摂取することが大切です。

(健康科学センター 診療所長 武生 英一郎)

令和4年度 地区衛生組織活動資金募集



通称 『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、令和4年度で63回目を迎えました。

集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)

21,524,152円

(令和4年度年間実績)



市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	915,400	69.0
海田町	990,000	44.0
熊野町	0	0
坂町	0	0
江田島市	1,640,810	96.8
竹原市	0	0
大崎上島町	0	0
大竹市	2,100,000	87.4
廿日市市	2,910,960	86.9
廿日市市大野	0	0
廿日市市佐伯	0	0
廿日市市吉和	51,900	115.1
廿日市市宮島	0	0
安芸太田町	0	0

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	0	0
安芸高田市	612,000	30.3
東広島市	0	0
三原市	1,317,352	87.3
世羅町	182,890	25.0
尾道市	1,979,800	46.1
福山市	7,555,650	89.2
府中市	0	0
神石高原町	0	0
三次市	1,200,000	51.2
庄原市	0	0
呉市	0	0
その他	67,390	96.8
合計	21,524,152	42.4

環境協に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。

【学習教材貸出事業】

環境づくりや健康づくりに関する各種グッズの貸出をしています。貸出グッズの一覧は、当協会ホームページからご覧いただけます。
(http://www.kanhokyo.or.jp)

◆貸出グッズのご案内◆

貸出しグッズ一覧表をリニューアルしました。新グッズも掲載していますので、ご活用ください!



市町別一覧表

※この表は、令和4年7月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を記載しています。